

理工学部 NEWS



第5号 (2017.7)

発行者：理工学部支援室

<http://www.hino.meisei-u.ac.jp/sae/>



理工学部主催・夏休み科学体験教室を開催しました

7月23日(日)、理工学部では夏の恒例イベントとなった夏休み科学体験教室を開催しました。このイベントは近隣の小・中学生に科学技術の素晴らしさ、楽しさ、夢を伝え、子ども達の科学に対する興味や関心を育てることを目的としています。

当日は理工学部1年生が参加者の指導者となり4~7月までの授業「プロジェクトI」で学んだ内容を、実験やものづくりを通して小・中学生に教えました。

出展45テーマ、展示1テーマの全46テーマを開講し、今年は約800名の小・中学生にご参加いただきました。

【物理学系】

「スマートフォンでミルククラウンを撮影しよう」



参加者が撮影したミルククラウン。

【物理学系】

「虹のできるわけ
-身の回りのものを用いて光を虹色に分けよう」



CD分光器を使って見えた蛍光灯のスペクトル。

【電気電子工学系】

「発光ダイオード(LED)を使った電子工作をしてみよう!!」



【機械工学系】

「キャット・フライヤーを作ってみよう」



機械工学系 熊谷教授の研究成果が国立科学博物館で展示・紹介されます

7月26日(水)~8月8日(火)、「日本の先端科学技術の紹介」と題する展示会(企画:2017年度「機械の日」実行委員会、共催:国立科学博物館、後援:文部科学省、経済産業省)で機械工学系 熊谷一郎教授の研究成果が紹介されます。

この展示会で紹介される研究は2017年4月20日、機械工学系 熊谷教授らの研究グループが、気泡による船舶抵抗低減技術の成果が高く評価され、日本機械学会賞を受賞したものです。

受賞題目:「気液二相流のスマート制御に基づく船舶の乱流摩擦抵抗低減技術の実用化」

受賞者:村井祐一(北海道大学)・熊谷一郎(明星大学)・田坂裕司(北海道大学)・パクヒョンジュン(北海道大学)・高橋義明(ランドエンジニアリング社)

一般社団法人 日本機械学会は、機械に関連する広い学術分野をカバーする、日本で最大級の学術専門家集団です(会員数約34,000人)。

生命科学・化学系は「自立と体験2」でサントリー武蔵野ビール工場を見学しました

7月22日(土)、生命科学・化学系は必修科目「自立と体験2」でサントリー武蔵野ビール工場を見学しました。ビールの発酵工程から出荷に至るまでの過程を学ぶこと、また使用済みのアルミ缶のリサイクル工程を見学し環境保全などの問題意識を育むことが目的です。

参加した学生11名(2年生7名、引率の4年生4名)は、専門分野との関係性だけでなく、職業に対する知識を深めることができました。



(左) 実際に使われていた貯酒タンクの中を見学



(右) ビールの造酒過程を見学

参加した教員・学生の集合写真

